

輪之内町立仁木小学校

校長 小藪 卓郎

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

晩秋の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、課題を分析および考察したものをと、今後の本校の教育活動についてお知らせ致します。

◇調査結果◇ ※全国平均のポイントよりも 高い項目○ 低い項目●
A問題 基礎地意識を問う問題から B問題 活用力を問う問題から

国語

A問題から

- 漢字を読む。
- 漢字を書く。
- 文の中における主語を捉える。
- 文を構成する主語と述語の照応関係を捉える。
- 新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える。

B問題から

- 目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする。
- 目的や意図に応じ、記事に見出しをつける。
- 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く。
- 文章と図と関係付けて、自分の考えを書く。

算数

A問題から

- 繰り上がりのある2位数の加法の計算をすることができる。
- 日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる。
- 180度や360度を基に、分度器を用いて180度よりも大きい角の大きさを求めることができる。
- 円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることができる。

B問題から

- 平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解している。
- 正三角形の性質を基に示された周の長さから、辺の長さが等しくなる位置を求めることができる。
- 長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述することができる。

理科

A問題から

- 実験器具の名称を理解している。
- 顕微鏡の適切な操作方法を身に付けている。
- 星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身に付けている。

B問題から

- 植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述できる。
- 星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析できる。
- 水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、温度が下がった時に出る砂糖の量を選び、理由を記述できる。

質問紙調査(学習・生活環境のアンケート)

- 平日、学校の授業時間以外に1時間以上の勉強をしている児童は約6割、休日1時間以上の勉強をしている児童は約7割、全国平均と比べても10ポイント以上上回っている。
- 将来の夢や希望をもってると答えた児童は、約9割で、全国平均より4ポイント上回っている。
- 国語の授業が好きと答えた児童は8割、算数の授業が好きと答えた児童は7割に上り、特に国語においては全国平均を20ポイント近く上回っている。
- 学校の授業の予習・復習をしていると回答している児童は約4割で、全国平均より10ポイント下回っている。
- 自分にはよいところがあると感じている児童は約7割だが、全国平均より8ポイント下回っている。
- 学級のみなどと協力してやり遂げた喜びを味わっている児童は7割強で、全国平均より10ポイント下回っており、行事や学級活動、委員会等において成就感や達成感を十分には味わえていない。
- 授業の中で友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると感じている児童は6割で、全国平均より7ポイント下回っている。

以上の事項を踏まえた本校の課題

- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着と予習・復習を兼ねた自主学習を位置付けた家庭学習の工夫
- ・発言の場を意図的に位置付けた話し合い活動の充実を図り、考えを深めることができるための授業改善
- ・仲間と知恵を出し合い、最後までやり切ることで得られる成就感及び成功体験の充実
- ・自分の思いを聞き手にうまく伝えたり、自分の考えを整理して書いたりする力の育成
- ・自分の良さを認識し、自己肯定感を感じながら向上していこうとする心の育成



◇学校として力を入れたいこと

- ・基礎的、基本的な知識・技能の習得を大切にした授業終末の定着時間の確保と学期末に実施する「みのりチャレンジ」等による見届け
- ・話し合い活動を大切にした授業づくりと根拠をもとに自分の言葉で書き留める文章記述によるまとめ
- ・根拠を明確に考えを整理しながら話す機会を計画的に位置付ける。(授業での発言、話し合い活動、児童集会など)
- ・諸行事の活動のねらいを児童と共有し、やり遂げた価値付けを積み重ねていく指導を継続し、自己肯定感を養うとともに家庭との連携を充実させる。(一日の振り返りノートの見届け、学級・学年通信の充実、HPの活用)
- ・家庭学習(自主学習)の内容として下学年の既習内容を含めた復習と学び直しを計画的に取り入れた週末課題を位置付ける。(つまずきの見られる学習内容の重点的な復習、ノート記述の振り返り、【家庭学習の手引き】の活用など)

◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・生活リズムを整え、前向きな気持ちで学校生活を送ることができるための体と心づくり(早寝早起き・朝ご飯・団らんなど)
- ・学習時間の確保と学習の見届け(ノートの点検、励ましの声かけ)
- ・やりきったこと、乗り越えたこと、小さな成功体験の価値付け(通信や学校たよりの活用)